

Regional perfusion imaging による脳内血管支配評価: shared control acquisition の影響

『研究対象者並びにご家族の方へ』

当研究は当院放射線部において2007年4月以降2010年4月までに頭部MRIの撮影を受けられた方を対象に研究させていただきます。

【はじめに】

Regional perfusion imaging (RPI)は血管支配域の描出に用いるMRI撮影法の1つです。その撮影には約9分ほどかかり、撮影時間が長いことが問題点でした。

【研究内容】

当九州大学放射線部において撮影された脳MRIの画像を閲覧して解析します。このデータから、1)全画像データを用いた解析、2)画像データの一部を間引いてshared control acquisition法という方法での撮影をシミュレートした解析、の2通りの方法で、血管支配マップを作成し、読影者内および読影者間の一致度を評価します。

【研究期間】

研究を行う期間は2015年までと考えております。

【医学上の貢献】

この研究によりshared control acquisition法の有用性が証明されれば、約30%の撮影時間の短縮効果が得られると考えます。

【研究機関・問い合わせ先】

九州大学大学院臨床放射線科学分野

教授 本田浩

講師 吉浦 敬

連絡先: 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

Tel 092-642-5695